

『留学を通して得たこと』

氏名：小原凜子

所属：国際文化学部・国際文化学科・2年

派遣留学先：培材大学（韓国）

派遣留学期間：2024年8月～（1年）

私は2年生の夏から3年生の夏までの1年間、韓国協定校の培材大学へ留学しました。韓国留学を決めたのは、韓国の音楽への興味から翻訳機ではなく自分の力で言葉を理解したいと思い、言語を学んでいく中で、言葉を深く理解するには文化を知る必要があると考えたからです。培材大学での1年間は一瞬でしたが、充実した留学生活を送ることができました。

学習面では、韓国語の読み、聞き、書きの授業だけでなく、韓国文化・文学の授業を履修することで、語彙力・文章力はもとより、韓国の風習などの文化についても理解を深めることができました。そして、培材大学での文化体験活動では韓国の文化に直接触れることができ、良い体験になりました。

生活面では、韓国では早く早くという文化があり、何事も早くすることが求められているため、慣れるまでがとても大変でしたが、韓国人の友人や日本人留学生に手助けしてもらうことで、すぐに慣れることができました。また、サークル活動を通して韓国人と関わり、韓国の伝統文化に触れることで日韓での価値観や文化の共通点や相違点を理解することができました。

今回の留学では、直接文化に触れ、直接人々と関わることでしか得られない韓国の深い部分や価値観を知ることができ、とても有意義な時間となりました。



↑ 培材大学正門



↑ サークルの様子



↑ 文化体験活動での韓服